

## H27地域協働研究（教員提案型・後期）

## RO-04「岩手産食材を活用した商品作りによる付加価値創出とバリューチェーンを通じた価値獲得プロセスの考察—岩手県企業のビジネスモデル構築と地域活性化に向けて—」

研究代表者：総合政策学部 近藤信一

## &lt;要 旨&gt;

本研究では、「岩手県は豊かな食材に恵まれているが、最大限に活かしているのか」、「豊かな食材を活かした商品作りを行うことで地域をさらに盛り上げることができるのではないか」との問題意識から、本研究テーマを設定し、①岩手県内企業が、地元食材を活用した独自の商品を開発することで付加価値を創出し、バリューチェーンを通して地域外の人々に岩手の魅力を伝えることで価値を獲得するプロセスを明らかにすること、②岩手県内企業の取り組みの現状・課題に着目し、今後のビジネスモデル構築の方向性について提言すること、ひいては③岩手県企業の岩手県産食材を活用した企業活動が岩手県の各地域の経済活性化へとつながる政策的提言を作成すること、を研究目的として、定性的実証研究方法にて調査研究活動を行った。

## 1 研究の概要（背景・目的等）

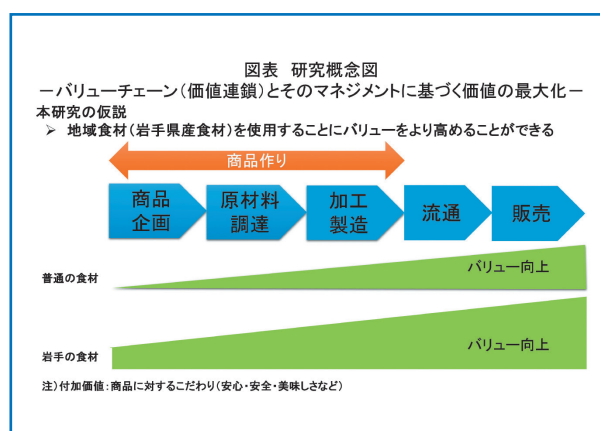
“岩手県は豊かな食材に恵まれているが、最大限に活かしているのか”、“豊かな食材を活かした商品作りを行うことで地域をさらに盛り上げることができるのではないか”、との問題意識から、本研究テーマを設定し、調査研究活動を行った。

筆者が先行研究を調べた限りでは、農業の6次産業化を中心に地元食材を活用した取り組みを取り上げている調査研究はあるものの、事例紹介にとどまっているものが多く、経営学（特に、経営戦略論）の観点から分析しているものが少ないこと、また岩手県の地元食材を活用した取り組みに焦点を当てている調査研究は少ない。

そこで本調査研究では、①岩手県内企業が、地元食材を活用した独自の商品を開発することで付加価値を創出し、バリューチェーンを通して地域外の人々に岩手の魅力を伝えることで価値を獲得するプロセスを明らかにすること、②岩手県内企業の取り組みの現状・課題に着目し、今後のビジネスモデル構築の方向性について提言すること、ひいては③岩手県企業の岩手県産食材を活用した企業活動が岩手県の各地域の経済活性化へとつながる政策的提言を作成すること、を研究目的とした。

では、事前に依頼状・質問表を作成し、半構造化インタビューを実施した。

インタビュー調査では、付加価値の創出と、バリューチェーンを通じた価値の獲得で上手くいっている事例と上手くいっていない事例の比較研究を行うことで、付加価値の創出と価値の獲得の際の成立要件を明らかにした。また、県外において、付加価値創出の最大化などで先端的な事例についてインタビュー調査を実施することで、岩手県企業に対して提言作成を行った。



## 2 研究の内容（方法・経過等）

本研究は、理論研究及びフィールド調査による実証研究の二本立てで行った。理論研究では、経営戦略論のフレームワークの一つであるマイケル・M・ポーターの「バリューチェーン（価値連鎖）」の枠組みを用いて、岩手県産食材が企業活動のなかで付加価値としてどのように創出され、バリューチェーンを通じてどのように価値として獲得されていくのかを考察した。一方、実証研究（フィールド調査）では、岩手県産食材が企業においてどのように商品作りに活用されているのか実態を把握するため、岩手県内の食品加工業に属する企業、岩手県内の卸売業や小売業に属する企業などにインタビュー調査を行い、定性的データを収集した。インタビュー調査

## 3 これまで得られた研究の成果

本研究においては研究の結果、県内をメインに商品を販売している企業では、岩手県産食材にこだわりを持つことで商品の付加価値が高まっているという研究結果が得られた。また、商品単価が高い企業では、岩手県産食材にこだわりを持つことで付加価値が高まっているという分析結果が得られた。

上記の研究成果により、現在は県外をメインに商品を展開している企業でも、今後県内をメインに商品を売り出していく際には、岩手県産食材にこだわりを持って商品づくりをすることで付加価値を高めることができること、また現在は単価が低い商品を販売している企業でも、岩手県産食材にこだわりを持って商品づくりをすること

で付加価値をより高め、現在より単価が高い商品を出していきることができること、など岩手県内の企業に対する提言を導出することができた。このことは、研究目的の①と②に対して本研究が一定の成果を挙げたといえるだろう。

#### 4 今後の具体的な展開

しかしながら、研究目的の③政策的提言については、十分に練られたものとはいえず、特に他県での先端的取り組み、さらには国外の先端的取り組みを調査して、政策的提言につなげるべきであったと考える。

#### 5 その他（参考文献・謝辞等）

本研究では、成果発表としては、下記の講演を実施した。

岩手県立大学総合政策学部アイーナキャンパス講座  
「産業と中小企業の最新動向を知る－IoTと農業でのICT活用、中小企業の国際化－」での講演「岩手県食材を活かした商品作りの可能性－岩手県中小企業の現状と課題からみる－」（主催：岩手県立大学総合政策学部、共催：岩手県、日時：2015年12月17日（木）午後13時00分～17時00分、場所：岩手県立大学アイーナキャンパス学習室1）

また、本学の大学祭でポスター展示を行った。  
岩手県立大学大学祭IPU Festa 2016（2016年10月29日、30日）でのポスター展示